

「心不全チーム」

高齢化社会の到来とともに心不全患者は急増しており、現在 100 万人を越えるとされる心不全患者さんの数はさらに増加してゆくことが予想され、“心不全パンデミック”と呼ばれています。心不全は”進行する”病気であり、“入退院を繰り返す”ことで患者さんやご家族の負担も大きくなってゆきます。心不全発症の予防と同時に重症化の予防がとても重要であることから、2021 年度から日本循環器学会によって心不全療養指導士認定制度も開始されています。これは、個々に異なる背景を持っている心不全患者さんやご家族に対して、適切かつ継続的に心不全の管理を行うことで“入退院を減らす”ことや、終末期の重症心不全患者さんに対して”心不全の緩和医療”を提供することを目的としており、医師を含めた様々な職種（看護師・理学療法士・薬剤師・社会福祉士・管理栄養士・臨床検査技師・公認心理士・言語聴覚士・作業療法士・保健師・臨床工学技士）が連携して、“心不全チーム”として、病院や診療所、施設や在宅といったあらゆる場面でサポートを継続してゆくという試みです。災害医療センターでも新しく”心不全チーム”を立ち上げて、現在9名の心不全療養指導士を中心に活動を進めてゆき、重症心不全患者さんを含めた地域の心不全診療に貢献したいと考えておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

循環器内科 医長 佐々木毅
医長 清水茂雄

心不全チームのメンバー(2022 年度)

循環器内科：清水茂雄、佐々木毅、大野正和、土谷健

心臓リハビリテーション：小川佳子

緩和医療：白澤円

看護師：雨宮遥菜(指導士)、小野凌生(指導士)

診療看護師：齊藤洋子(指導士)

病棟師長：高村かおり、病棟副師長：吉田奈々絵、鈴木舞、袖山ともよ

理学療法士：丹羽朗子(指導士)、吉本慎(指導士)、水口達哉(指導士)

社会福祉士：二宮陽子(指導士)、沓澤美紀(指導士)

退院支援看護師：沼利綾乃(指導士)

心不全チームの目的

様々な背景を持つ一人一人の心不全患者さんやご家族に対して、心不全チームでサポートすることで

- 慢性的な心不全の進行を予防し、入院回数を減らす。
- 重症心不全患者さんの救命と集学的治療による社会復帰
- 終末期心不全患者さんに対する緩和医療の提供
- かかりつけ医との病診連携を介した心不全管理、治療の効率化
- 地域医療における心不全の予防や治療の啓蒙

心不全チームの活動

1. 心不全パンフレットを用いた心不全の説明
2. 体重や血圧、脈拍の測定方法、手帳への記載などのセルフモニタリングの指導
3. 予定外での外来受診に関する説明：心不全が悪化する前に外来を受診または受診の必要性について相談
4. 心臓リハビリテーション：心肺運動負荷試験(CPX)を含めた心臓リハビリや、筋力低下を伴うフレイルの状態に対する運動リハビリの実施
5. 栄養指導：塩分やカロリー制限、食事形態などに関して管理栄養士による指導
6. 薬剤指導：飲み忘れや飲み間違いを予防するための薬剤師による薬剤管理や指導
7. 退院支援：在宅や施設での管理継続のための支援、転院調整や介護保険申請
8. 心不全カンファレンス：月1-2回実施
9. 心不全の緩和ケア：緩和医師とのカンファレンス
10. 患者さんを対象とした心不全勉強会：グループで心不全に関する勉強会を実施
11. 一般向けの心不全に関する公開講座：心不全の病態、予防、治療に関する啓蒙
12. 心不全関連学会への参加・発表